

## 子ども・子育て支援体制の強化について

【担当省庁】内閣府、文部科学省、厚生労働省

幼児教育や保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で重要なものであり、質の高い幼児教育や保育を地域のニーズに応じて、総合的に提供することが重要である。

京都府では、誰もが安心して子どもを産み育てやすい環境づくりを目指し、子ども・子育て支援施策の充実を図ってきたところであるが、これらの取組が持続的に実施できるよう、志の高い保育士等の確保のため、以下の措置を講じていただきたい。

### 保育士の職位制度の創設等

保育士については、全国共通のキャリアパスがないことから、キャリアアップが見えにくい、身につけた経験やスキルが処遇に反映されにくいといった課題がある。

このため、保育士として就職を希望しない有資格者が多いことや、いったん辞めると復職が難しいなどの課題がある。

質の高い保育士確保の観点から、仕事にやりがいを感じられるよう、保育士の職位制度を創設し、職位（スキル）を考慮した処遇がなされるようにしていただきたい。

また、国において給与面での一定の加算措置が講じられたところであるが、他職種と比較しても、依然、低い水準であることから、さらなる処遇改善を図っていただきたい。

「子ども・子育て支援新制度」が本格的にスタートしたことにより、対象年齢が引上げられ（小学校 4 年生 6 年生）放課後児童クラブの児童登録増が見込まれる。放課後児童指導員の質の高い人材確保が急務であることから、放課後児童支援員等処遇改善等事業における給与面の処遇改善を図っていただきたい。

【現状・課題等】

保育士と各職種の賃金比較（平成 26 年度賃金構造基本統計調査）

	年 収	勤続年数
全 職 種	479.7 万円	12.1 年
看 護 師	473.0 万円	7.7 年
福祉施設介護員	309.3 万円	5.7 年
幼稚園教諭	347.0 万円	7.8 年
保 育 士	316.7 万円	7.6 年



平成 27 年度処遇改善等加算後イメージ（上記に賃金改善加算 3 %を加えた額）

保 育 士	326.2 万円	7.6 年
-------	----------	-------

改善後も比較的低額

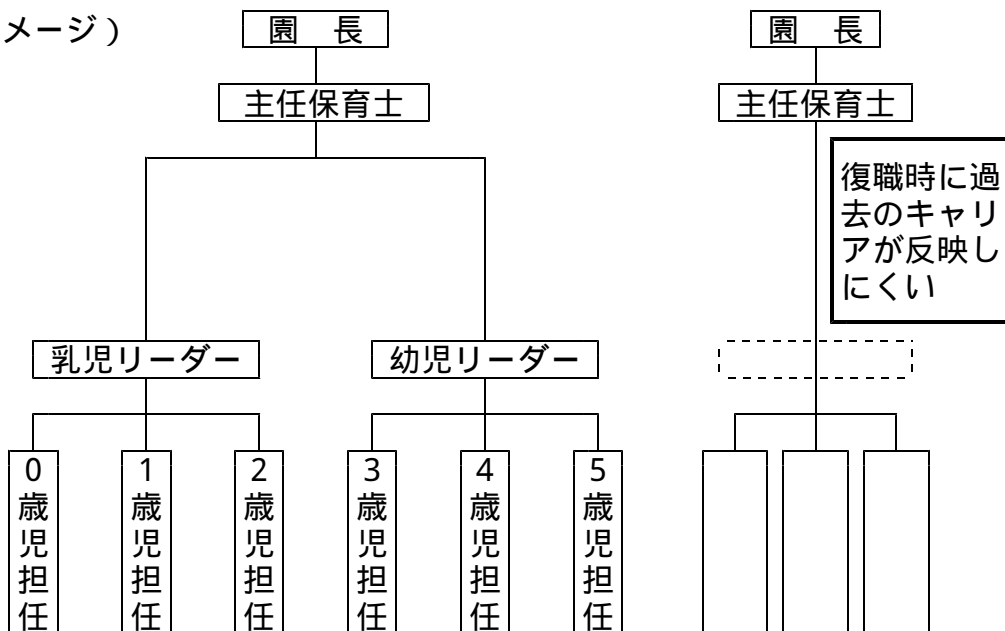
保育所の組織体制

- ・全国共通の職位、キャリアパスがない。

保育所の規模によって役職が限定される場合あり（リーダー職がないなど）。  
また、身につけた経験やスキルが、処遇に反映されにくい。

処遇改善加算（施設型給付費）も経験年数のみ考慮（職位は反映されない）

（イメージ）



放課後児童支援員等処遇改善等事業

- ・補助単価 家庭、学校等との連携及び情報交換等の育成支援者給与 1,539 千円

【京都府の担当課】

健康福祉部 子育て政策課 075-414-4591